

第10回 沖縄県アンダー40 設計競技 ティーフラッグス 2021 審査講評

県内の若手建築家を対象とするコンペも10回目を迎え、今回は、35点の力作が提案されました。次世代を担う若い建築家の皆様方からの大きな支持が広がっていることを実感し、心からうれしく思います。

今回も若手らしい斬新でユニークなアイデアと課題に対する真摯な取組みが強く感じられ、非常にレベルの高い優れた提案がなされました。そうした中から一次審査では、課題に対する解決力、実施案としての実現可能性、さらにはプランの表現等を審査員で熟議し、7作品を最終審査の対象としました。

最終審査では、公開でのプレゼンテーションと質疑応答を実施し、選考委員による公開での投票の結果、金賞（作品番号34）、銀賞（作品番号15）、銅賞（作品番号4）の3作品を選出しました。

金賞（作品番号34）の作品は、敷地の形状や高低差を活かし、周辺環境と一体となるバランスの良い配置計画をはじめ、休憩所及びトイレはシンプルな形態でありながら機能的で洗練されたデザインが綺麗にまとまっている点等が高く評価されました。

銀賞（作品番号15）の作品は、施設を敷地西側に集中して配置することで、生まれる利便性のよさや、プレキャストを用いることによる環境への配慮や施設の耐久性などが評価されました。

銅賞（作品番号4）の作品は、休憩所の利用客が限定されるという課題に対し、敷地広範囲に影を点在させることで様々な園地利用者の居場所を確保し敷地全体を効果的に利活用した計画としている点などが評価されました。

また、前回に引き続き今回も8つの学生作品の中から学生賞1点を決定しました。

学生賞（作品番号8）の作品は、ウミガメ産卵地を光害から守り、環境面への配慮や、構造計画、ユニバーサルデザインなど多面的で丁寧な設計アプローチにより計画されている点などが評価されました。

今回の公開プレゼンには大勢の参集を賜り、沖縄建築界の躍動する将来を感じさせるコンペとなりました事は、大きな成果といえましょう。本事業に参加された皆様、そして事業を推進された沖縄県、並びに沖縄県建築士会に感謝すると共に、沖縄建築界の益々の発展を祈念いたします。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役）

